

## 電子展示会「あの人の直筆」を公開しました



<http://www.ndl.go.jp/jikihitsu/>

国立国会図書館では、平成28年8月30日（火）から、ホームページ上で電子展示会「あの人の直筆」の提供を始めました。

この電子展示会は、平成26年秋に開催した企画展示「あの人の直筆」をもとに作成しており、日本の近世から昭和にかけて各分野で活躍した有名人約120人の書簡や葉書等の直筆資料を紹介しています。

教科書に載っている「あの人」、本で読んだ「あの人」。いったいどんな字を書いたのでしょうか。ぜひ、「あの人」の直筆をご覧ください。

■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103（直通）

## ■ 別紙（ページの一例）

「あの人」がどんな時、どんな思いで字を書きつらねたのか、より想像しやすくなるよう、直筆資料の画像とともに人物の肖像や履歴、資料の解説文を掲載しました。一部の資料には翻刻（原資料の文字を活字体に置き換えたもの）を用意しています。

○ 与謝野晶子(よさの あきこ) 1878-1942

歌人。本名は、しょう。旧姓は鳳。与謝野鉄幹が創立した『明星』に短歌を発表するようになり、大胆で奔放な愛をうたった処女歌集『みだれ髪』は大きな反響を呼んだ。『源氏物語』の現代語訳でも知られる。鉄幹と結婚し、生涯で11人の子供を育てあげた。



91 与謝野晶子書簡 昭和2(1927)年3月28日【鶴見祐輔関係文書(書簡の部)1111-1】

**デジタル化資料**

晶子の母親としての一面がうかがえる書簡。当時26歳の長男(のちの医学博士与謝野光)が郊外の荻窪で病気になったおり、麹町区富士見町の自宅からわざわざ赴き看病し、そのために「失礼」したことを詫言っている。宛名の鶴見祐輔は後藤新平の娘婿。鉄道省退官後、著述・講演活動に専念し、のちに衆議院議員となった。



**翻刻**

手紙の体裁や筆記具に関することなど読んで楽しい「豆知識」や、資料に関する詳細な解説や関連する資料群の紹介をするコラムも掲載しました。

**豆知識**


**ちらし書き**

「細川忠興夫人書簡」は、行間・行末や行間をそらす、文字を“散らして”書かれています。一見ランダムに見えますが、ある程度の法則性はあり、大きな文字から読み始めるのが原則です。


誰がいつ、何のために始めたかは、わかっていませんが、平安時代にはすでにあったようです。女性の手紙、仮名の手紙に多く見られます。

**紙の大きさの種類**

紙を書く道具である筆筒という枠のサイズが、和紙の基本のサイズです。このサイズの紙を**立紙(整紙)**と呼びます。横長に2つに折ったものを**折紙**と言い、折り目を下にして書き、続きはひっくり返してまた折り目を下にして書きます。広げると、文字の向きは逆になります。



折紙を折り目で切ったものが切紙です。それをつなぎたものが**綴紙**、さらにそれを巻いたものが**巻紙**で、巻紙が登場したのは江戸時代後期です。昔の人は長い手紙をくるくと読んでいるイメージがありますが、それほど古くからあったわけではありません。



**コラム** 七友帖

石田英吉が、**高田耕雲斎**、**本戸孝允**、**坂本龍馬**、**宇田徳太郎**、**高杉晋作**など交友のあった人物15人の書簡や漢詩(草稿)など19点の筆跡を一つの巻物に貼り込んだもの。

石田は土佐に生まれ、勤王運動に奔走した志士であった。天誅組の學士に加わり、のち奇兵隊、海軍隊に加入、戊辰戦争にも従軍した。維新以後には新政府に仕え、農商務省次官、高知県知事、明治29(1896)年に男爵、のちに貴族院議員となる。

石田がこの巻物を作成した、あるいは資料を集めた動機はつまびらかではないものの、高知県知事在任中の明治29(1896)年に、内務省からの訓令により維新の功勞者の調査を行ったことも影響していると思われる。また、明治30(1897)年には、元治元(1864)年9月5日に処刑された土佐勤王党の二十三士をしのび、記念碑の建立に尽力している。当時、石田はこの二十三士について資料を集めるとともに漢日記を遺しており、志士達の同志の回顧やその事績を伝えることに積極的であったといえよう。

石田に限らず、ある程度社会が落ち着いてきた明治20年代以降になると、幕末維新期の活動について元幕臣や日蓮開拓者によって、聞き書きや回顧がなされるようになってきた。

石田が残した文書(石田英吉関係文書)には、前述の二十三士にかかわる「海南殉難士略伝」といった記録や天誅組に関連する資料類(大和日記)も遺されており、後世に維新期の事績を伝えようとする石田の思いがうかがえる。

